



聖日礼拝プログラム

今週のみことば

司会者 渡邊貞雄師 奏楽者 渡邊頼子師

讃美★新229	千歳の岩よ	—	同
主の祈り		—	同
讃美★新392	主の愛の汝が内に	—	同
交読詩篇	30:1~12	—	同
祈禱		司会者	
報告		司会者	
聖書	使徒の働き20:1~38	司会者	
説教	「涙の別れ」	渡邊貞雄師	
献金★新508	神共にいまして	司会者	
頌栄	新63 父、御子、御霊の	(起立) 一同	
祝禱			

「……また、主イエスご自身が「受けるよりも与えるほうが幸いです」と言われたみことばを、あなたがたに示してきたのです。」使徒の働き二〇・三五

★印. = 全節朗読

来週礼拝 使徒25:1~26:32 「証しのチャンス」

〒15-0044 三重県松阪市久保町1445-7 COG松阪キリスト教会
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子



2021年9月5日 VOL. 44-36 No. 2340

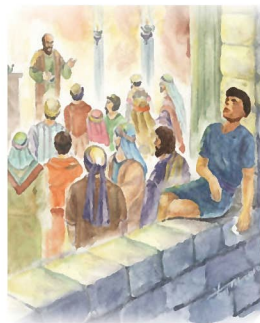
URL <http://matukyo.com/>
 Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 暑さの残る中ですが、9月(長月/ながつき)に入りました。「長月」とは次第に夜が長くなるのが由来の様ですが、秋の夜長にじっくりと「みことば」に心を向ける時も幸いではないでしょうか。
- ▼ 本日は9月の第1聖日で、「COG創立記念日」にあたります。9月20日(月)には「70周年記念式典」(オンラインで)も予定されておしま

す。覚えてお祈りください。

- ▼ コロナのために今朝も礼拝は、YouTubeですが、スムーズな配信のために、お祈りください。
- ▼ 9月号の諸機関誌は、機会を見てのお届けとなり、少し遅延しますが、よろしくご理解を!



にれ はみ

2021年8月29日
聖日礼拝
使徒の働き18:1~17
「コリント伝道」
説教 渡邊貞雄 師



第二回伝道旅行のコリント伝道を学ぶ。コリントは、エジプト、ローマに次ぐ人口50万人超の大都市であった。

I、恐れの中の存在

神の開口一番の言葉は「恐れなくて」(9)だった。それ程にパウロは、重く底知れない恐怖を覚えていた。人は見かけによらぬもの、彼にどんな恐れがあったのだろうか。

①アテネ伝道の不振と失敗。アテネの人々は無関心(17:32)でトラウマとなった!②政治的要因。「ユダヤ人をローマから追い出す…」(2)とある。③コリント人の激しい反発。「口汚くののした」(6)。それでパウロは本格的に異邦人伝道を決意した。④孤独。シラスとテモテをベレアに残し、自分はアテネとコリントへ逃避した。その心の痛手は大きかった。

II、慰めの中の存在

①このコリントでアキラとプリスキラに出会った(2)。ローマを退去して来た彼らは、パウロの心を理解し、同業(天幕造り)で同居することになった(3)。特にプリスキラは明るく積極的な婦人であったようだ(18)。②

シラスとテモテに再会出来た(5、16:1~3参照)。テモテを「愛する子」と呼んでいた(Ⅱテモテ1:2)。また彼らはピリピ教会からの献金(支援金)を携え励ました。③この町で救われる人もあった(8)。

III、神からの慰め

①「私がともにいる」(10a)。神であるわたしがともにいる、気づかないのかと励まされた。祈っても事態が好転しないと、不信と自己嫌悪に陥り易い。しかし直面する闇の中でこそ、物事を正しく見通す力が与えられ、神の力をいただける。②安全の約束。「あなたを襲って危害を加えるものはいない」(10b)と神は語られた。③「この町にはわたしの民がたくさんいる」(10c)。不思議なことに神は、異邦人のコリント人を「わたしの民」と語られた。信仰者は、神にとっては選民以上の「わたしの民」であった。

心に恐れが入ると不安が増大するが、祈りと讃美は力となる。「歌いつつ歩まん」(新聖歌325)「心にもだえあらば」(新聖歌200)。家や部屋から、祈りと讃美の声を響かせよう。